

2 学校、地域、そして隣の市町も…つながりで相乗効果を生むように

12月議会では、「教育のまち、スポーツのまち」と掲げて発展してきた開成町が、さらに教育の質をあげるべく、特に読書環境の充実と、中学校部活動についてどう取り組んでいるのか、一般質問で取り上げました。

小さな町でも、本をたくさん読めるように。

「開成町で新しい図書館(複合施設)を」との町長の意向には、人口減社会で予算も限られる中、疑問の声が聞かれます。

小さな町だからこそ、今ある場所を工夫して使い、どうしても不十分だという場合に新たな施設を検討するという流れが必要です。そこで、町民が本に触れる機会をもっと増やす工夫について問いました。

すでに小中学校では、町民センターの図書室と連携し、司書が配慮しながら本を循環させています。中学生のおススメ本の紹介が町民センターにあり、存在を近くに感じました。また、町民センターの図書室は夜8時まで利用できますが、これは近隣市町のなかで、他に小田原駅の図書館だけとのこと。

これから、紫水大橋と255線が繋がる予定があり、大井町の図書館(自然園がある建物)に行きやすくなります。隣町との連携を強化し、人々の行き来が進めば、互いの良さが磨かれ、活気も増すと提案しました。

様々に取り組みを進める町の動きに合わせ、町民の読書の機会も増えることを期待します。



子どもたちに多様で自由な選択を。

中学校の部活動では、「週末は地域の人の協力を得て、先生の負担を減らす取り組み」が進んでいます。子ども達をはじめ、指導者となる町のスポーツ協会の皆さま等のご意見・ご要望をもとに、実情や今後について町に問いました。

学校の先生方にゆとりが生まれ授業準備がはかどり、子どもたちにとっては技術力向上が図れるなど、新鮮で良い効果が生まれているそうです。

人材確保のための予算がネックとの町の話は、受益者負担に繋がりがやすいです。そこで、部活動が今後も家庭の経済状況を問わず、子どもたちがのびのびとスポーツや芸術に励む場であるように、と強調しました。

また以前より要望が多いダンス部やバドミントン部の新設や、文化部も含めた取り組み、学校外の施設の有効利用についても求めました。

一方、同じ足柄地域でも、子どもが減り、部活の種類も限定的な町があります。足柄の地域全体で子どもたちの環境を良くしていくよう目指すことをリードする。これがこれからの開成町の役割だと訴えました。



3 予算・都市計画 2月に土地利用を定める都市計画、3月に令和8年度予算書の審議もありました。

道路とバス(公共交通)の整備や企業誘致など、近隣の市町との連携がますます重要になる計画が多くあります。より良い開成町を将来につないていくには、という視点で一つ一つの予算案を精査しました。

駅前はどうなる 駅前について予算質疑の機会を利用し、予定や進捗状況を確認するとともに、地権者・それ以外の町民へ、見た目にも分かりやすい説明を求めました。今年度は、駅前からセブンイレブン牛島店に伸びる「駅前通り線」整備のため、その途中の仙了川にかかる橋を新設予定とのこと。

祝い金には気持ちを込めて!

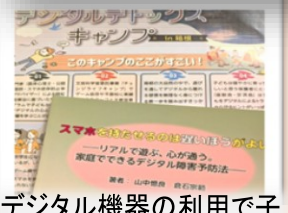
出生祝い金を一人あたり5万円、第3子以降は10万円の口座振込みを始めるとのこと。私はR5年から「出生祝いにアジサイの株をお贈りしたらどうか」と提案しています。地元の品を併せれば、気持ちがこもり産業振興にも繋がります。改めて検討を要望しました。



4 清水ゆき 議会の外で(10~3月抜粋)



子どもの居場所 親も交流



デジタル機器の利用で子どもが気を付けることや脳への影響を学ぶ勉強会に参加(小学校・中学校にて)

ASOBI 隊、終了!! 9年間ありがとうございました。ママ友達と立ち上げた夏休み・春休み中の子どもの居場所づくりボランティア活動。ご近所のおじちゃんおばあちゃん、数々の企業にもご協力いただきました。

←取材も多数ありました。



町民フェスタで環境を守る啓発運動に参加(ECO ネットあしがらの会)

芸術・文化の振興のために 町民文化祭の会場でもある福祉会館は、町の計画「福祉拠点」のみであり、芸術・文化拠点と認められていません。「設置目的が福祉拠点であるため」との町の説明ですが、30年前の開館時の資料を独自に調べたところ、「広報かいせい」に「福祉施策と芸術・文化の拠点」と掲げられていました。当時の町長の想いや町民への説明と矛盾すると追求しました。文化団体への配慮や、実態との整合性が求められます。